

7月 臨時教育委員会会議録

- | | | | |
|---|-------|---------------------|------------------------------------|
| 1 | 日 時 | 平成 29 年 7 月 12 日（水） | 午後 2 時から午後 3 時 10 分 |
| 2 | 場 所 | 磐田市役所西庁舎 | 特別会議室 |
| 3 | 出席委員 | 村松教育長、青島委員 | 杉本委員 秋元委員 鈴木委員 |
| 4 | 出席職員 | 学校教育課長 学校教育課長補佐 | 学校教育課主幹兼指導グループ長
学校教育課指導グループ指導主事 |
| 5 | 傍 聴 人 | 0 人 | |

1 開会

2 議事

(1) 議案第 4 7 号 「小学校用教科用図書の採択について」

司会

本日の議案は「小学校用教科用図書の採択について」。議事は教育長に進行をお願いする。

教育長

議案第 4 7 号は「小学校用教科用図書の採択」に関する議案のため、共同採択地区の袋井市及び森町教育委員会の審議に影響が出る可能性があることから、地教行法第 14 条 7 項の規定により、本議案に係る審査は非公開で行いたいかどうか。

委員一同

異議なし

教育長

本議案に係る審議を非公開とする。

第 4 7 号「小学校用教科用図書の採択について」の審議に入る。

教育長

審議に先立ち、事務局から説明がある。

学校教育課指導 G 長

教科用図書採択のこれまでの経過説明。

無償措置法第 12 条第 1 項により採択地区を設定し、共同採択をすること。

同法第 13 条第 5 項により採択地区内の市町教育委員会は、協議し種目ごとに同一の教科用図書を採択しなければならないこと。

同一採択地区内の市町教育委員会の間で協議を行う方法として「地区教科用図書採択連絡協議会」を設け、採択案を協議し、建議すること。

教科書採択においては、磐田、袋井、森町を同一採択地区として、各市町の教育長、校長代表、PTA 代表で組織された連絡協議会が組織された。

第 2 回連絡協議会では、教科書研究委員より調査研究の報告を受け、同一採択地区における教科書採択案を決定した。本日はその採択案を協議し、決議する。

資料 1～4 の説明。

1 臨時教育委員会「採択機構図」「教科用図書採択案」「現教科用図書一覧」調査研究の観点

の説明 1「内容」 2「組織、配列、分量」 3「児童の発達段階への配慮」。2研究委員会報告書、3教科書見本本巡回調査研究まとめ、4教科書展示会意見書、教科書見本本がある。参考にしてほしい。

報告は、指導主事が連絡協議会で推薦する採択案、及び採択理由を述べる。

教育長

磐田周智地区教科用図書連絡協議会より提出された資料をもとに、採択案の報告後、採択を行う。道徳の報告をお願いする。

学校教育課指導主事

道徳の教科書 8 者を文部科学省の教科書目録の発行者番号順に報告する。

「2 東書」について。各教材の最後に考える視点が設定されている。いじめへの対応を意識した教材であることが明記されている。読みもの資料が充実している。巻頭のオリエンテーションのページや巻末の各教科と関連付けたページがあり、発達の段階に応じた取り組みができるよう工夫されている。

「1 1 学図」について。分冊化されていることで、多様な学習展開が考えられる。定番資料が多く、読みもの資料が充実している。挿絵の色調が柔らかく、優しい印象を受ける。

「1 7 教出」について。体験的な活動を促すページ、場面が設定されている。補充教材が充実しており、学校の実態に応じて弾力的に活用できる。文字の大きさや行間が、児童の実態に合うよう工夫され、読みやすい紙面構成となっている。

「3 8 光村」について。現代的な課題に対して、読み物とコラムを組み合わせあり、多面的・多角的な見方による学習展開が期待できる。教材の最初の問いかけや「考えよう つなげよう」を活用して、児童が主体的に学ぶことができるよう工夫されている。写真や挿絵が効果的に使われている。

「1 1 6 日文」について。「道徳ノート」には書くことの欄が十分に確保されている。現代的な課題に対しては、複数の教材が配置されている。写真や挿絵が大きく、児童の興味関心をひく紙面構成となっている。

「2 0 8 光文」について。教材の導入に考えたいことが明示されており、児童が見通しや問いを持って学習に取り組むことができる。巻頭のオリエンテーションのページが工夫されており、児童が主体的に学習することができる。複数の教材を続けて学習し、道徳的価値の理解を深められるよう配列されている。文字の大きさや行間が、児童の実態に合うよう工夫されたり、写真や絵がバランスよく配置されたりしており、読みやすい紙面構成となっている。

「2 2 4 学研」について。各教材の最後にある「考えよう」では、道徳的価値を自己とのかかわりにおいて考えられるような視点が設定されている。「学び方のページ」を活用して、多様な学びの展開ができるように構成が工夫されている。生命の尊さを多面的に考えることができる教材の配列となっている。A4 版のため、児童にとって視覚的に見やすい紙面構成となっている。

「2 3 2 廣あかつき」について。児童に考えさせたいことが「学習の道すじ」において明確になっている。「道徳ノート」には書くことの欄が十分に確保されているため、児童が書くことを通して、自分を振り返ることができる。「道徳ノート」が内容項目ごとに配列され、同じ内容項目の児童の考えの変容を、児童も教師もとらえることができる。定番の資料のほか、魅力あふれる人物教材や心を揺さぶる名作・感動教材など多様な教材が配列され、興味関心をひく

内容となっている。問題解決的な学習や体験的な学習を促す教材が数多く掲載されているため、自分とのかかわりの中で道徳的価値についてより深く考えることができる。各学年の初めに主体的・対話的で深い学びにつなげられるページが設定されている。学年の初めに学習する資料が、児童の発達の段階を考慮し、前学年からの円滑な接続ができるよう工夫されている。発達の段階に応じた文字の大きさや分量で読みやすい紙面構成となっている。また、挿絵の色調が柔らかく、落ち着いた印象を受ける。

8者それぞれの研究報告後、ふさわしい教科書は廣あかつきの教科書であることを報告する。理由は3点。

1点目は、どの学年でも児童に考えさせたいことが、低学年では、「考えよう 話し合おう」、中・高学年では、「学習の道すじ」において明確になっていること。他の7社も、発問や視点が設定されているが、児童に深く考えさせ、道徳的価値に迫るような投げ掛けが設定されているのは廣あかつきであること。6年生の27ページを参照。「学習の道すじ」には、本時の目当てを示してあり、これにより児童は、課題を共有し学習の見通しをもつことができる。また、話し合いに活用できる問いや児童が自我関与できる問いが示されている。このことは、児童の主体的な学びを引き出すことにつながる。

2点目は、問題解決的な学習や体験的な学習を促す教材が数多く掲載されているため、自分とのかかわりの中で道徳的価値についてより深く考えることができること。4年生の80ページ、81ページ参照。よいことと分かっても実行できなかったり、悪いことと知りながら自分の弱さにまけてしまったりするという、生活の中でありがちな場面をとらえ、児童が多面的・多角的に考えながら問題解決に向けて話し合ったり、自分との関わりで発展させたりできる教材である。また、どのように声を掛けるか、体験を通して深く考えることができる。5年生の64ページ、65ページ参照。64ページでは、日常生活の中で時と場に応じた礼儀作法を、友達とペアになって行うという体験を通して考えることができる。65ページの伝統文化の中にある礼儀作法は、日ごろ児童が目にしたたり実践したりすることはあまりないことだが、「共通する心」を体験を通して考えることで、「礼儀」という価値をより深く考え、道徳的実践力につなげることができるよう工夫されている。

3点目は、学年の初めに学習する資料が、児童の発達の段階を考慮し、前学年からの円滑な接続ができるよう工夫されていること。1年生の教科書2ページから31ページ参照。他者では、比較的早い段階で読みもの教材が出ているが、あかつきは、入学当初の児童の学習状況を考え、イラストのみであったり、ひらがなのみであったりする配慮がなされている。5年生の4ページ・5ページ参照。高学年になった5年生は、第3者的な視点で自分自身を考えることができるようになる。学年の最初に、命のつながりやかけがえのなさ、尊さを考えることで、自分自身の命の大切さだけでなく他者の命の重みを考えるきっかけとなる教材。

以上の点から、「廣済堂あかつき」の教科書がふさわしいと考えた。

【質疑】

教育長

意見・質問はないか。

委員 委員すべての同意、総意ということでよろしいか。

指導主事

文部科学省の検定を経ておりすべての教科書が読みごたえがあった。その中でも「廣あかつき」が特に優れていたということ。

委員 とくに際立っていたという点は。

学校教育課長

教科書の中にある「学習の道すじ」により、授業の方向性や流れがつかみやすく、教師の発問により内容もつかみやすい。ノートがついていることも特徴の一つ。ノートがあることで型にはまってしまうやすいとの考えもあるが、あかつきのノートは自由度があり、4つの価値ごとに配列されているため、ノートを使用しながら価値ごとに子どもたちの考えや変容が把握しやすく、成長過程をみとることができ、それが評価にもつながっていくという研究委員会の報告を受けている。

委員 1年生にはイラストが多く含まれていて、発達の段階がよく配慮されていることに感心した。

委員 光村図書は表紙がきれい。大谷選手にも触れていた。光文は全体のバランスが良いと感じた。あかつきは詩から入り命のバトンにつながっていて入りがよいと感じた。

委員 国語になってしまわないような教材がいいなあと思っていた。国語が苦手な子にとっては負担にならないようにしたいが、あかつきは特に1年生でイラストが多く配慮されている感じを受けた。時には先生の読み聞かせでもよいと思うし、文章を書く子が苦手な子、読むのが苦手な子にも心に響く道徳でありたい。

委員 「学習の道すじ」で学びに入っていくことができる点がよい。

教育長 ノートは単なるワークシートではない。教材との配列順の編集ではない。

委員 今日はノートを中心に使う、という学習の仕方もあるということ。

教育長 教材とノートとが1対1の対応ではないため、いくつかの教材を読んだあとに、命について考えてみよう、という学習の仕方もある。

例えば「礼節は大切だ」と書いてあるが、子どもたちは実際にそのような場面を通して礼節の大切さを学んでいく。このノートを使い、書くことを通して4つの価値を深めていく。

委員 体験して体得することが大事。

教育長 そうやって自分の中に軸を作っていく。

委員 工夫されたノートに着目した視点は大変良いと思う。

委員 連絡協議会のメンバー構成は。

教育長 3市町の教育長、校長代表、PTA代表の9名で組織されている。

委員 作業部会（研究委員会）のメンバー構成は。

教育長 各地区で選出された教員で何日かけて研究された。

委員 廣濟堂あかつきはどのような出版社か。

学校教育課指導G長

今回の採択案を受けインターネットで調べたところ、「心のノート」の手引書を作成していることがわかった。「私たちの道徳」5、6年生用も作成していた。

教育長 道徳は「廣濟堂あかつき」を採択することでよろしいか。

委員一同 同意

教育長 磐田市としては、「特別の教科道徳」は「廣濟堂あかつき」を採択することとします。

<議案の承認>

一同同意

審議の結果、議案第47号は原案どおり承認された。

司会

連絡事項をお願いする。

(2) 連絡事項

学校教育課指導G長

今後のスケジュールについて説明

県の採択公表は9月1日。本日の内容は公表前なので、資料はすべて回収。

司会

本日予定されていた議事は全て終了。

3 閉会